

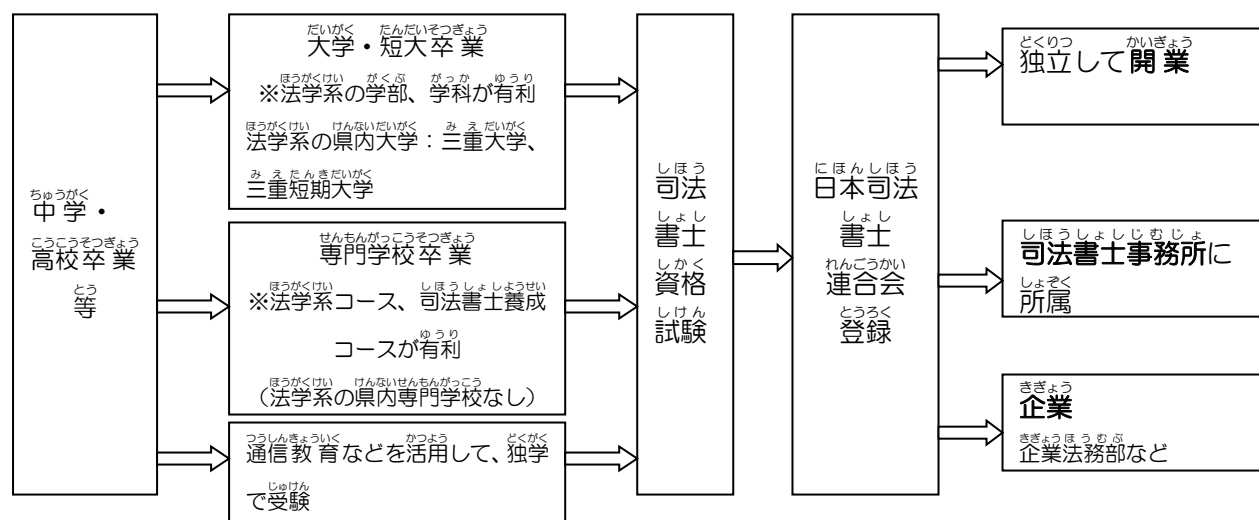
19 司法書士



司法書士は、法律の知識を活かして、個人や会社に代わって、不動産・商業登記の手続きや、裁判所や法務局などに提出する書類を作成します。また、依頼主に対して財産や訴訟に関する「法律の相談役」となることもあります。

県内には多くの外国人が暮らしています。母国語ができる司法書士は、法律問題などで困っている外国人住民に対して、その手助けができ、心強い存在となります。

司法書士になるには



<早くから準備をしましょう>

司法書士試験は難関で、大学や専門学校に入って法律の専門知識を学ぶ必要があるため、高い日本語能力や学力が求められます。早くから日本語や学校の勉強と母国語の上達に心がけましょう。

<資格を取れば どのくらいに就職できるの？>

就職先は、企業の法務関係の部署、司法書士事務所などです。また、司法書士事務所で実務経験を積んだ後、独立開業する人も多くいます。平均年収は850万円で、実力次第では1,000万円以上の収入も期待できます。

<費用(学費)はどれくらい？>

国公立大学で240万円以上(4年間)、私立大学では400万円以上(4年間)かかります。短大では、180万円以上(2年間)かかります。専門学校は200万円以上(2年間)かかります。また、通信教育や短期受験講座などは40万円以上かかります。